

フルカラーPODD 市場拡大へ

フルバリアブル印刷・低ランニングコスト 『MJP600』好評

株式会社ミヤコシ(本社=千葉県習志野市津田沼 1-13-5、電話 047-493-3854)の「MJP600」は、オンデマンド印刷市場で成長著しい大量型フルカラープリントニーズに応えるインクジェット式デジタル印刷機である。

オンデマンド印刷市場は、必要な人に、必要な時期に、必要な方法で、必要な物を、などをキーワードに急激に成長してきている。

その中でもカード会社の請求書に同封される個人向けの情報紙、通信教育会社の個人ごとにコーディネートされる問題集や成績通知書、保険会社のダイレクトメールや更新通知書といった個人向けに内容をコーディネートされたものを発行するオンデマンド印刷だけの市場といえる、大量型のワン・トゥ・ワンビジネスが拡大してきている。

「MJP600」は、この市場のプリンターに求められる、フルバリアブル印刷、高解像フルカラー印刷、安価なランニングコスト、高速処理等のニーズに対応、新たなビジネスの創造をサポートする。



【特長】

①ハイスピードバリアブル印刷

オンデマンドプリンターでは、最高域となる毎分 150m でのフルカラーでのフルバリアブルプリントを実現(現行バージョンの 50M/分から3倍の印刷速度を実現)

②ハイクオリティ

解像度 600×600dpi、1bit(2 値)での印刷モードに加え、2bit、3bit の印刷モードを装備。

使用する用紙や品質要求に応じて、印刷モードを選択可能。MJP1 システムで多様化するユーザーニーズにマルチに対応。

③プロダクティビティ

高速連続印刷の品質安定性を現行 MJP より、さらに向上させると共にドロップオンデマンド方式のプリントヘッドでは必須であるパージ・ヘッド採用。洗浄時間を大幅に短縮、高い連続運転の安定性と高稼働率を実現。

④モジュールタイプ・プリントヘッド

プリントヘッド形状を従来の 1 色・1 ヘッド式から 4 色・1 ヘッド方式のモジュールタイプに変更し、装置全長を大幅に削減。ISS コントローラーを現行の自立操作盤式から装置制御用の GOT 画面の中に機能を移し、

システム設置スペースの省スペース化を実現。

⑤低ランニングコスト

染料インクの採用により、ランニングコスト比重の高いインクコストを従来の水性顔料インクに比較し、低減が可能。また、色表現域が広がり、より高い印刷品質表現が可能。(従来通りの水性顔料インクの対応も可能)

⑥Printing Precision

ミヤコシのフォーム印刷機メーカーとしてのノウハウを生かした用紙搬送機構造により、用紙厚さにかかわらず、天地、左右、表裏の見当精度、印刷長さ加工ピッチ等々において、高精度の印刷が可能。プレプリント済みの用紙に対しての高精度なスポットカラー印刷を実現する追い刷りモードも準備。(オプション)

(2007年4月12日 印刷新報掲載)